

横須賀市の児童生徒の読書実態調査（報告書）

令和4年(2022年)3月

横須賀市教育委員会

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市における子どもの読書の実態を調査し、第3次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗状況を把握する。

(2) 調査対象

横須賀市立小学校（4～6年生）・中学校（1～3年生）の抽出1クラスの児童生徒に対してアンケートを実施した。

区分	全対象数		抽出数			
	学校数	児童生徒数	学校数	配布数	回答数	回収率
小学校	46校	8,879人	46校	3,938人	3,785人	96.1%
中学校	23校	9,007人	23校	2,334人	2,131人	91.3%
合計		17,886人		6,272人	5,916人	

(3) 実施方法

各学校に調査票を送付して依頼し、各学校単位で実施し、回収した。

(4) 実施期間

令和3年12月1日(水)～17日(金)

(5) 調査基準

令和3年11月の1カ月間

2. 調査結果の概要

【問1】11月の1カ月の間に、本を何冊ぐらい読んだか。

小学生の平均読書冊数は、7.8冊で、中学生の平均読書冊数は2.5冊である。小学校は前回より0.2冊増えており、中学校は前回より0.2冊減っている。

本を1冊も読まなかった小学生は12.7%で、前回より1.2%増えており、中学生は37.1%で、前回よりも2.4%増えている。また、本を5冊以上読んだ小学生は47.4%で前回より、1.7%増えており、中学生は13.2%で前回より1.0%増えている。

読書冊数の全国との比較

区 分		今回調査値（3年度）			前回調査値（2年度）			基準値（28年度）		
		本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
小学生	横須賀	7.8冊	1.3冊	9.4冊	7.6冊	1.2冊	10.4冊	7.5冊	1.5冊	8.5冊
	全国	12.7冊	3.6冊					11.4冊	3.7冊	
中学生	横須賀	2.5冊	1.0冊	7.5冊	2.7冊	0.9冊	9.3冊	3.9冊	1.7冊	9.8冊
	全国	5.3冊	2.0冊					4.2冊	1.7冊	

月間読書冊数別の割合

区分	合計	0冊	1～4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
小学生	100%	12.7%	39.9%	47.4%	0.0%	7.8冊
	(100.0%)	(11.5%)	(42.0%)	(45.7%)	(0.8%)	(7.6冊)
中学生	100%	37.1%	49.7%	13.2%	0.0%	2.5冊
	(100.0%)	(34.7%)	(53.1%)	(12.2%)	(0.0%)	(2.7冊)

※（ ）内数字は、前回の調査の数値

1カ月の間に読んだ本の冊数が0冊だった児童生徒の割合

区 分		今回調査値 (3年度)	前回調査値 (2年度)	基準値 (28年度)
小学生	横須賀	12.7%	11.5%	11.1%
	全国	5.5%		4.0%
中学生	横須賀	37.1%	34.7%	41.9%
	全国	10.1%		15.4%

※全国数値は、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が合同で行っている令和3年6月調査の数値。

なお、前年度（2年度）は新型コロナウイルス感染症の影響により調査が未実施のため記載していない。

【問2】【問1】で本を1冊も読まなかった理由(複数回答可)

小学生は「本はおもしろくない」、中学生は「本を読む時間がない」を一番の理由に挙げており、「その他」として「興味がない」、「本よりゲームが楽しい」などが挙げられている。

	どんな本を読んで いいかわからない	本は面白く ない	本を読む 時間がない	字が難しい	その他	無回答
小学生	25.9%	32.0%	28.5%	11.3%	24.3%	10.7%
中学生	26.0%	32.8%	47.1%	10.6%	29.3%	4.3%

※複数回答のため合計は100%を超えます。

【問3】本を読むのが好きか。

「好き」、「どちらかといえば好き」の割合は、小学生は78.9%（前年度比0.7%増）、中学生は70.2%（前年度比0.7%減）で、小学生、中学生共に「どちらかといえばきれい」、「きれい」を大幅に上回っている。

区分	好き	どちらかといえば 好き	どちらかといえば きれい	きれい	無回答
小学生	40.9%	38.0%	15.3%	5.3%	0.4%
	(41.0%)	(37.2%)	(16.1%)	(5.4%)	(0.3%)
中学生	32.3%	37.9%	20.2%	9.5%	0.1%
	(30.9%)	(40.0%)	(20.2%)	(8.6%)	(0.3%)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

【問1】と【問3】に対するクロス集計

小学生、中学生共に「好き」の平均読書冊数が減っており、「どちらかといえば好き」の平均読書冊数は小学生が増えており、中学生は前年度と同数値である。

小学生

本を読むのが好きですか	合計	0 冊	1～4 冊	5 冊以上	無回答	平均読書冊数
好き	100%	3.7%	28.1%	68.0%	0.2%	12.0 冊
	(100.0%)	(4.2%)	(29.4%)	(66.3%)	(0.1%)	(12.1 冊)
どちらかといえば好き	100%	10.3%	48.8%	40.4%	0.5%	5.8 冊
	(100.0%)	(8.6%)	(52.4%)	(38.4%)	(0.6%)	(5.5 冊)
どちらかといえば嫌い	100%	28.8%	49.6%	21.4%	0.2%	3.1 冊
	(100.0%)	(23.8%)	(53.4%)	(22.4%)	(0.4%)	(3.2 冊)
嫌い	100%	50.2%	36.7%	11.1%	2.0%	1.8 冊
	(100.0%)	(48.8%)	(39.3%)	(11.4%)	(0.5%)	(2.3 冊)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

中学生

本を読むのが好きですか	合計	0 冊	1～4 冊	5 冊以上	無回答	平均読書冊数
好き	100%	15.8%	53.6%	30.5%	0.1%	5.1 冊
	(100.0%)	(15.3%)	(54.0%)	(30.7%)	(0.0%)	(5.8 冊)
どちらかといえば好き	100%	32.4%	60.1%	7.4%	0.1%	1.7 冊
	(100.0%)	(31.3%)	(62.8%)	(5.8%)	(0.1%)	(1.7 冊)
どちらかといえば嫌い	100%	60.5%	37.9%	1.6%	0.0%	0.7 冊
	(100.0%)	(52.3%)	(46.6%)	(0.9%)	(0.2%)	(0.8 冊)
嫌い	100%	77.8%	19.7%	2.5%	0.0%	0.7 冊
	(100.0%)	(77.7%)	(20.1%)	(2.2%)	(0.0%)	(0.5 冊)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

【問4】授業以外で学校図書館を利用したことがあるか。

「よく利用する」、「ときどき利用する」の割合は、小学生は52.2%（前年度比3.2%減）で前回より減っており、中学生は21.5%（前年度比0.1%増）で前回とほぼ変わらない。

区分	よく利用する	ときどき利用する	あまり利用しない	利用したことがない	無回答
小学生	17.2%	35.0%	37.5%	9.4%	0.9%
	(16.3%)	(39.1%)	(35.2%)	(8.6%)	(0.8%)
中学生	5.5%	16.0%	37.7%	39.7%	1.1%
	(4.3%)	(17.1%)	(39.6%)	(38.1%)	(0.9%)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

【問5】【問4】で「あまり利用しない」、「利用したことがない」と回答した児童生徒に対して質問している。学校図書館を利用しないのはなぜか。（複数回答可）

小学生、中学生共に「行く時間がないから」を一番の理由として挙げており、「その他」の理由として小学生、中学生共に「読みたい本がないから」、「友達と外で遊びたいから」という理由を多く挙げていた。

学校	行く時間がないから	本に興味がないから	使いたいときに図書館がしまっているから	本は買う事が多いから	その他	無回答
小学生	33.9%	31.3%	6.3%	32.6%	25.7%	1.2%
中学生	42.2%	34.3%	2.8%	39.1%	23.2%	0.5%

※複数回答のため合計は100%を超えます。

【問6】電子図書を利用したことがあるか

「よく利用する」、「ときどき利用する」の割合は、小学生が30.5%（前年度比3.8%減、中学生が49.5%（前年度比3.4%減）となっており、小中学生共に前回より減っている。

区分	よく利用する	ときどき利用する	あまり利用しない	利用したことがない	無回答
小学生	16.1%	14.4%	21.0%	47.4%	1.1%
	(15.8%)	(18.5%)	(17.5%)	(46.9%)	(1.3%)
中学生	29.1%	20.4%	22.6%	26.8%	1.1%
	(28.6%)	(24.3%)	(18.3%)	(28.0%)	(0.8%)

【問7】【問6】で「よく利用する」、「ときどき利用する」と回答した児童生徒に対して質問している。

11月の1か月の間に電子図書の「本・雑誌・マンガ」を何冊ぐらい読んだか（今年度から設問追加）

電子図書の平均読書冊数

区分	本	雑誌	漫画
小学生	4.1冊	0.9冊	10.0冊
中学生	2.9冊	1.2冊	11.5冊

電子図書の月間読書冊数別の割合

区分	合計	0冊	1～4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
小学生	100%	42.2%	31.8%	22.9%	3.1%	4.1冊
中学生	100%	66.3%	20.9%	11.4%	1.4%	2.9冊

3. 第3次横須賀市子ども読書活動推進計画の目標値との比較

指 標		基準値 (28年度)	前回値 (2年度)	今回調査値 (3年度)	目標 (3年度)	
1	1カ月間の 平均読書冊数	小学生	7.5冊	7.6冊	7.8冊	9.8冊
		中学生	3.9冊	2.7冊	2.5冊	5.1冊
2	1カ月間に1冊 以上本を読む 児童生徒の割合	小学生	88.9%	87.7%	87.3%	96.0%
		中学生	58.1%	65.3%	62.9%	72.0%

4. 調査結果の分析

(1) 平均読書冊数を昨年度と比較すると、小学生は0.2冊増加し、中学生は0.2冊減少している。1か月間で一度も本を読まなかった児童生徒の割合（以下「不読率」という。）は、昨年度と比較すると、小学生は1.2%増加し、中学生も2.4%増加している。

小学生の平均読書冊数については改善傾向にあるが、中学生の平均読書冊数と小中学生の不読率については、今後も課題として取り組む必要がある。

さらに、小学生、中学生共に全国平均と比べて平均読書冊数が少なく、第3次計画の目標値とも差があるため、第4次計画では、成果が出ている小学生に対する事業は継続し、中学生については、新しい事業に取り組むなど、実態を把握しながら計画を推進する必要がある。

(2) 学校図書館の利用について、「よく利用する」、「ときどき利用する」の割合が、小学生は昨年度より3.2%減少し、中学生は0.1%増加した。

「あまり利用しない」、「利用したことがない」と回答した小学生、中学生の一番の理由は「行く時間がないから」を挙げており、小学生、中学生とも忙しさが伺える。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による学校図書館の開館時間の制限も理由の一つと考えられる。

(3) 電子図書については、小学生の約3割、中学生の約5割が「よく利用する」、「ときどき利用する」と回答している。

今後も電子図書の利用実績を検証し、不読率改善の手段として活用できるかを検討していく必要がある。

小学生の読書についての調査^{ちょうさ}

これから答えていただくのは、テストではありませんので、名前^{なまえ}を書く必要はありません。学級や学校名^{めい}を公表することはありません。

まず、あなたの学年を○でかこんでください。

学 年	4 年 生	5 年 生	6 年 生
-----	-------	-------	-------

【問 1】あなたは 1 1 月の 1 か月の間に、「本・雑誌・マンガ」を何冊^{きつ}ぐらい読みましたか。教科書・学習参考書^{さんこう}(ドリル・問題集)・電子図書^{でんしとしょ}の数は入れないでください。1 冊^{きつ}も読まなかった人は「0」と書いてください。

答

ア 本	冊
イ 雑誌 ^{ざっし} (マンガの週刊誌 ^{しゅうかんし} ・月刊誌 ^{げっかんし} などを含む)	冊
ウ マンガ	冊

【問 2】【問 1】で「ア 本」を 1 冊も読まなかった人におたずねします。本を 1 冊も読まなかった理由^{りゆう}であてはまるものすべてに○をつけてください。

- ① どんな本を読んで良いかわからない
- ② 本はおもしろくない
- ③ 本を読む時間がない
- ④ 字が難^{むずか}しい
- ⑤ その他 ()

【問 3】あなたは、本を読むのが好き^すですか。番号を 1 つだけ○でかこんでください。

答

1. 好き ^す	
2. どちらかといえば好き ^す	
3. どちらかといえばきらい	
4. きらい	

☆うらにも質問があります

【問4】あなたは、授業以外で学校図書館を利用したことがありますか。

答

1. よく利用する
2. ときどき利用する
3. あまり利用しない
4. 利用したことがない

【問5】【問4】で「あまり利用しない」、「利用したことがない」と答えた人におたずねします。学校図書館を利用しない理由であてはまるもの、すべてに○をつけてください。

- ①行く時間がないから
- ②本に興味がないから
- ③使いたいときに図書館がしまっているから
- ④本は買う事が多いから
- ⑤その他 ()

【問6】パソコン・携帯電話・タブレットなどで、電子図書(雑誌・マンガ・オンライン小説・電子書籍をふくみます)を利用したことがありますか。

答

1. よく利用する
2. ときどき利用する
3. あまり利用しない
4. 利用したことがない

【問7】【問6】で「よく利用する」、「ときどき利用する」と答えた人におたずねします。

1 1月の1か月の間に電子図書の「本・雑誌・マンガ」を何冊ぐらい読みましたか。1冊も読まなかった人は「0」と書いてください。

答

ア 本	冊
イ 雑誌 (マンガの週刊誌・月刊誌などを含む)	冊
ウ マンガ	冊

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

中学生の読書についての調査

これから答えていただくのは、テストではありませんので、名前を書く必要はありません。学級や学校名を公表することはありません。

まず、あなたの学年を○でかこんでください。

学 年	1 年 生	2 年 生	3 年 生
-----	-------	-------	-------

- 【問1】あなたは11月の1か月の間に、「本・雑誌・マンガ」を何冊ぐらい読みましたか。教科書・学習参考書(ドリル・問題集)・電子図書の数は入れないでください。1冊も読まなかった人は「0」と書いてください。

答

ア 本	冊
イ 雑誌 (マンガの週刊誌・月刊誌などを含む)	冊
ウ マンガ	冊

- 【問2】【問1】で「ア 本」を1冊も読まなかった人におたずねします。本を1冊も読まなかった理由であてはまるもの、すべてに○をつけてください。

- ① どんな本を読んで良いかわからない
- ② 本はおもしろくない
- ③ 本を読む時間がない
- ④ 字が難しい
- ⑤ その他 ()

- 【問3】あなたは、本を読むのが好きですか。番号を1つだけ○でかこんでください。

答

1. 好き
2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえばきらい
4. きらい

☆うらにも質問があります

「読書実態調査」の実施児童生徒数について

調査に当たって、児童生徒のアンケート回答割合を把握するため、実施対象クラスの児童生徒の在籍人数の報告をお願いいたします。

小学校は「1」に、中学校は「2」に記入をお願いいたします。

学校名 _____

記入者 _____

1. アンケート実施クラスの児童在籍数をお答えください（小学校）

4 学年 _____

5 学年 _____

6 学年 _____

2. アンケート実施クラスの生徒在籍数をお答えください。（中学校）

1 学年 _____

2 学年 _____

3 学年 _____

学校における読書活動の取り組みの調査

学校名 ()

該当する番号を○で囲んでください。また、実施や導入している場合は、あてはまる記号をすべて○で囲んでください。その他の記号を○で囲んだ場合、()に取り組みの内容をご記入ください。

質 問 項 目	回 答
1. あなたの学校の図書館の年間図書貸出数はどのくらいですか。	1. 全体で 冊 2. 1人あたり 冊
2. 朝の読書(10分間読書)等を実施していますか。 ※朝や10分間にこだわらず、読書時間を設けている場合は、「1. 実施している。」に○をしてください。	1. 実施している。 2. 実施していない。 2. の理由を○でかこんでください。 ア. 時間の確保が難しい イ. 必要性を感じない ウ. ほかの活動を行っている エ. その他 ()
3. 図書委員会の読書啓発の取り組みをしていますか。	1. 実施している。 ア. 推薦図書や新着図書の紹介 イ. 読み聞かせ(おはなし会) ウ. 読書量(冊数又は頁数)による表彰 エ. その他 () 2. 実施していない。 2. の理由を○でかこんでください。 ア. 時間の確保が難しい イ. 必要性を感じない ウ. その他 ()
4. 読書活動にボランティアを導入していますか。	1. 導入している。 ア. 読み聞かせ(おはなし会) イ. 学校図書館の整理 ウ. 図書の貸出返却の手伝い エ. その他 () 2. 導入していない。 2. の理由を○でかこんでください。 ア. 人の確保が難しい イ. 必要性を感じない ウ. どのような活動を行ってもらえばよいかわからない エ. その他 ()

<p>5. 読書の推進に関する行事を学校独自で実施していますか。</p>	<p>1. 実施している。</p> <p>ア. 読書週間等に読書イベント等を行う イ. 読み聞かせ(おはなし会) ウ. 読書感想画 エ. 読書感想文 オ. その他()</p> <p>2. 実施していない。</p> <p>2. の理由を○でかこんでください。 ア. 時間の確保が難しい イ. 必要性を感じない ウ. その他()</p>
<p>6. 市立図書館の特別貸出を利用したことがありますか。(1か月・50冊) ※今年度だけでなく、過去の分も含めて</p>	<p>1. 利用したことがある。</p> <p>2. 利用したことがない。</p> <p>2. の理由を○でかこんでください。 ア. 制度を知らなかった イ. 借りにいったり選んだりする時間がない ウ. 市立図書館が遠い エ. 学校図書館の本で十分 オ. その他()</p>
<p>7. 市立図書館から配布されるブックリストをどのように利用していますか?</p>	<p>1. 配布のみ。</p> <p>2. ブックリストを活用した読書を勧めている。</p> <p>3. 学校図書館の選書に活用している。</p>
<p>8. 学校図書館の開いている時間は、いつですか。 (児童・生徒が本を借りることができる時間)</p>	<p>1. 常時開いている。</p> <p>2. 一定時間開いている。(昼休み・中休み等)</p> <p>3. 一定時間開いている。(放課後・朝等)</p>
<p>9. 学校図書館の開いている時間は、誰が対応していますか。(複数回答可)</p>	<p>1. 教師(学校司書)</p> <p>2. 生徒(図書委員など)</p> <p>3. 学校図書館ボランティア</p>
<p>10. 学校図書館の利用指導は児童生徒に1年1度は行われていますか。</p>	<p>1. 全学年で行っている。</p> <p>2. 行っている学年がある()年)</p> <p>3. 行っていない。</p>

ありがとうございました。

令和3年度 横須賀市の児童生徒の読書実態調査について

1. 目的

平成29年度に策定した「第3次横須賀市子ども読書活動推進計画」の進捗状況把握のため、本市における子どもの読書の実態を調査します。

2. 調査内容

平均読書冊数（11月の1か月の間に読んだ本・雑誌の数）や読書についての意識調査、学校図書館の利用調査

ア 児童生徒用

小学生用調査票（別紙1）

中学生用調査票（別紙2）

イ 学校用

児童生徒数調査票（別紙3）

学校用調査票（別紙4）

3. 調査対象

ア 児童生徒用

- ・市立小学校の4～6年生の各学年の1クラスを抽出
- ・市立中学校の各学年の1クラスを抽出

イ 学校用

市立小中学校全校に実施

4. 調査期間

令和3年12月1日（火）から令和3年12月17日（金）

5. 提出期限

令和3年12月17日（金）

6. 集計結果の取扱い

- （1）各校に全体の集計結果及び自校分の結果を送付
- （2）市ホームページ及び学校イントラネット上に掲示
- （3）社会教育委員会議で集計結果報告

7. その他

- （1）調査結果は、「第3次横須賀市子ども読書活動推進計画」の進行管理及び教育指導課の学校図書館運営参考資料に使用し、他の目的に使用いたしません。
- （2）集計結果について公表の際は、学校名は公表いたしません。

（事務担当は、中央図書館図書サービス係 深水 822-2202）

「読書についての調査」実施の手引き

調査に当たって、児童生徒に対して、回答を暗示しないよう説明をお願いいたします。

(調査のすすめかた)

1. まず目的を説明してください。
「横須賀市の子どもが、読書をしているのか、調べるための調査です。調査の結果は、「第3次横須賀市子ども読書活動推進計画」の進捗状況を確認するために使用します。
2. 続けて次のことをお伝えください。
「これから答えていただくのは、テストではありませんので、名前を書く必要はありません。学級や学校名を発表することはありません。」
3. 次に学年を○で囲むよう説明してください。
4. 終了を確認してから、【問1】を説明し、記入を確認してから【問2】に進んでください。以下同様に【問7】までお願いします。

(調査の実施にあたっての注意点等)

1. 【問1】で調査するのは、11月の1か月の間に読んだ本・雑誌・マンガの数です。、種別ごと設けた3つの欄に、それぞれの数を記入してください(電子図書は含めないでください)。
 - ①本の欄に記入するのは、一般の単行本(児童書・小説・ノンフィクション・実用書等)・文庫本・絵本・ムック等であることを説明してください。
学習マンガ(「マンガ××の歴史」「マンガ〇〇のひみつシリーズ」等)や図鑑についての判断を求められた場合は、「本」として含めてください。
 - ②雑誌の欄に記入するのは、週刊誌・月刊誌等を読んだ数です。マンガの週刊誌・月刊誌等の数はこちらに入れてください。
 - ③マンガの欄に記入するのは、マンガの単行本(コミック)・マンガの文庫本等を読んだ数です。マンガの週刊誌・月刊誌の数は、ここに入れてください。
 - ④回答欄毎の分類で1冊も読まなかった場合は、当てはまる欄に「0」と記入してください。
 - ⑤通読はしないが読んだ本・雑誌・マンガがある場合、それを1冊に数えるかどうかは、本人の感覚にまかせてください。数量的な基準を問われた場合は、概ね3分の

2以上としてください。

2. 【問2】で調査するのは、【問1】で本を1冊も読まなかったと答えた(本の欄に「0」と記入した) 場合の、読まなかった理由です。

- ①【問1】で本の欄に0と記入してある人だけ回答してください。
- ②【問1】で本の欄に読んだ数(0以外の数)が記入してある場合は、回答する必要はありません。
- ③5つ選択肢がありますが、あてはまる番号をすべて○で囲んでください。
- ④5を○で囲んだ場合は、()の中に、理由を記入してください。

3. 【問3】で調査するのは、本を読むことが好きか、きれいかです。

①この設問で、調査の対象としている「本」とは、【問1】の「本の欄」で定義した「本」です。雑誌・マンガではありません。

②4つ選択肢がありますが、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

4. 【問4】で調査するのは、学校図書館を利用する頻度についてです。4つ選択肢がありますが、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

5. 【問5】で調査するのは、【問4】で「3. あまり利用しない」「4. 利用したことがない」と答えた場合の理由です。

5つ選択肢がありますが、あてはまる番号をすべて○で囲んでください。5を○で囲んだ場合は、()の中に、理由を記入してください。

6. 【問6】で調査するのは、携帯電話・タブレット等を利用して読む、オンライン小説等を含む「電子図書」の利用頻度です。

7. 【問7】で調査するのは、11月の1か月の間に読んだ電子図書の本・雑誌・マンガの数です。

①本の欄に記入するのは、電子図書の本を読んだ数です。雑誌・マンガは含めないことを説明してください。「ケータイ小説」「Web小説」のような場合は、一つの物語が完結している分を1冊とみなして数えてください。

②雑誌の欄に記入するのは、電子図書の週刊誌・月刊誌等を読んだ数です。マンガの週刊誌・月刊誌等の数はこちらに入れてください。

③マンガの欄に記入するのは電子図書のマンガを読んだ数です。マンガの週刊誌・月刊誌の数は、ここに入れなくてください。



横須賀市の児童生徒の読書実態調査(報告書)

令和4年(2022年)3月発行

横須賀市立中央図書館
〒238-0017 横須賀市上町1-61
電話 046-822-2202